

文部科学省 中小企業イノベーション創出推進事業（SBIRフェーズ3）
宇宙分野（事業テーマ：スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証）
「人工衛星の軌道離脱及び衝突回避のための超小型水イオンスラスタ
および水ホールスラスタの開発・実証」プロジェクトの
ステージゲート審査結果について

令和7年9月17日

文部科学省

一般社団法人 低炭素投資促進機構

令和4年度補正予算 中小企業イノベーション創出推進事業（SBIRフェーズ3）宇宙分野
（事業テーマ：スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証）「人工衛星の軌道離脱及び衝突回避のための超小型水イオンスラスタおよび水ホールスラスタの開発・実証」プロジェクトについて、外部有識者から構成されるステージゲート審査委員会において、以下の通り、一定の条件の下、事業フェーズ2（注）への移行を決定しました。

（注）本事業テーマの事業フェーズ期間については、原則2年以内、四半期単位で事業者が設定することとしています。事業フェーズ3への移行は、予算額も含め、今後のステージゲート審査において判断することとなります。

代表スタートアップ：株式会社Pale Blue

事業計画名：人工衛星の軌道離脱及び衝突回避のための超小型水イオンスラスタおよび水ホールスラスタの開発・実証

審査方法：書面審査を実施し、その後プレゼンテーション審査を実施。

（審査結果の詳細は別添1、審査委員は別添2の通り）

事業テーマ：スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証
「人工衛星の軌道離脱及び衝突回避のための超小型水イオンスラスタおよび水ホール
スラスタの開発・実証」プロジェクト ステージゲート審査結果

代表スタートアップ：株式会社 Pale Blue

事業計画名：人工衛星の軌道離脱及び衝突回避のための超小型水イオンスラスタ
および水ホールスラスタの開発・実証

フェーズ1 事業期間：～令和7年9月末 フェーズ1 交付額上限：15.8億円

フェーズ2 事業期間：～令和8年12月末（予定） フェーズ2 交付額上限：11.7億円

※ 本ステージゲート審査において、プロジェクト目標の変更が承認されたため、フェーズ2以降の事業計画名は「人工衛星の軌道離脱及び衝突回避のための超小型水イオンスラスタおよびホールスラスタの開発・実証」に変更する。なお、今般変更されたプロジェクト目標に基づく事業計画が着実に履行されていることを確認するため、追加のステージゲート審査を実施する（2026年6月予定）。

(別添2)

事業テーマ：スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証
ステージゲート審査委員会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

(委員長)

尾崎 典明 エスファクトリー 代表
一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ 副代表理事

(副委員長)

五百木 誠 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授

(委員)

北澤 知文 ジャフコグループ株式会社 パートナー

杵淵 紀世志 名古屋大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 准教授 (※)

白坂 成功 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 委員長/教授

西村 竜彦 Frontier Innovations 株式会社 代表取締役社長 ジェネラルパートナー

(※) 審査対象となる事業者と利害関係を有するため、本審査には参加していない。